

## 仕 様 書

### 1. 業務名

令和5年度 宇佐市情報通信環境整備計画策定事業委託

### 2. 業務の目的と背景

(宇佐市の農業と情報環境の背景)

本地域は、昭和39年より開始された駅館川総合開発事業により、ダム・頭首工・基幹水利等の整備が行われ、駅館川土地改良区連合、宇佐・安心院・院内の3土地改良区及び地域の農業者により管理が行われています。しかし、近年においては水利施設の老朽化や営農体系の変化により恒常的な農業用水不足が生じており、末端部では時間通水や地下水利用、用水の反復利用を余儀なくされるなど、合理的・効率的な営農や農業生産性の維持に大きな支障を来しています。そのため、令和元年度より国営かんがい排水事業「駅館川地区」の事業採択に向け地区調査が実施されています。

また、国営かんがい排水事業地区調査「駅館川地区」を推進するために設立された同推進協議会が策定した「駅館川地域 営農振興計画」では、担い手の減少や高齢化に伴い、水利施設の維持管理等を遠隔・自動での制御を行う「次世代型農業水利システム」の構築を目指しています。

しかし、農業用水利施設及び農地は市内各所に点在し、特にダムについては市内周辺部に位置しております。そのため、情報通信基盤(光伝送網、民間事業者の4Gサービス等)の脆弱なエリアも存在します。

上記を前提とし、より効果の大きい事業とするために、市全体の現状やニーズの把握、更には今後の宇佐市における農業のあり方を考慮した情報通信基盤の整備を行う必要があることから、『宇佐市情報通信環境整備計画』を策定しICTを活用(DXの推進)した取組を進めていきます。

(本業務の目的)

- (1) 農業現場で発生している様々な課題の解決に寄与する計画の策定
  - ・現在の農業現場における、労働力不足の解消、個人に蓄積された農業技術及び知識の継承、ほ場条件の見える化等
- (2) DXを推進していくための人材育成
  - ・気運の醸成、マインドセットの変革、推進ノウハウの蓄積等を意識したDX推進に関する講演やワークショップの実施
- (3) ICTを活用した市全体のありたい姿のビジュアル化
  - ・市全体(宇佐市ICT化推進ビジョン(以下、「ICTビジョン」という。))にお

ける農政分野の位置付け

- ・ 諸課題を踏まえた農政分野のアクションプラン（仮）の立案支援
  - ・ 農政分野以外のアクションプラン（仮）の素案作成に関する支援
- (4) 総合的な情報通信環境整備計画に資するアウトプットの策定
- ・ 令和6年度に策定する情報通信環境整備計画の礎となる詳細な計画内容の策定
- ※上記の項目を目的として、ICTの活用（DXの推進）及び情報通信基盤の利用を検討するための情報として、広く活用されることを期待します。

### 3. 履行期間

契約締結の翌日から令和6年3月29日（金）まで

### 4. 業務の内容

#### (1) 宇佐市の農政分野のアクションプラン（仮）の作成における伴走支援

デジタル技術の要素を取り入れた「宇佐市のありたい姿」を具体化するために、市役所職員及び地域住民を対象としたワークショップの実施と結果の取りまとめを行うとともに、(3) 情報通信環境整備に関する計画（案）及びICTビジョン、宇佐市総合計画（以下、「総合計画」という。）へ反映する。

#### (概要)

(ア) 市全体のICTビジョンを基にした農政分野の位置づけの整理に関すること

##### ① 業務内容

- A) ICTビジョンにおける農政分野のアクションプラン（仮）の位置づけとその後の推進方法の検討・確定
- B) ICTビジョン全景における各分野のイメージ

(イ) 市職員及び農業関係者向けワークショップに関すること

- ① 対象人数：10～20名程度
- ② 実施回数：1回以上の実施
- ③ 実施場所：宇佐市内（別途協議）
- ④ 業務内容
  - A) カリキュラムの設定
  - B) 開催日の設定
  - C) 講師の選定、調整
  - D) 使用する機器の準備、後片付け
  - E) 当日のテキストの作成
  - F) 参加者へのアンケート作成・収集・分析等
  - G) その他ワークショップの運営に必要なこと

(ウ) 農政分野のアクションプラン（仮）の策定に関すること

① 業務内容

- A) 現状調査（農業関連のICT活用や宇佐市内の通信環境整備状況等）
- B) ワークショップ実施結果のとりまとめ
- C) 農政分野のアクションプラン（仮）の作成

(エ) 総合計画、ICTビジョンへ反映するための整理と報告書の作成に関すること

① ワークショップ実施結果のとりまとめ

(オ) 議論についての計画を報告書にまとめて提出すること

（提案にあたっての留意事項）

- ・ ワークショップの内容は、参加者がDXの概念やデジタルについて理解をしやすい、様々なアイデアを出しやすくなるよう工夫し、市と協議の上で決定すること
- ・ ワークショップ参加者は、広く参加を促し、市と協議の上で決定すること
- ・ ワークショップのファシリテータの選定にあたっては、メインの講師のほか、初心者の参加者が円滑に受講できるようサポートスタッフを必要人数招聘することとし、市と協議の上で決定すること
- ・ 事後アンケートを実施し、DX推進に向けた課題等について評価・分析を行うこと
- ・ 農政分野のアクションプラン（仮）に関するアウトプットは、市と協議の上で骨子を共有した上で作成すること。また、実効性の高いものとする

(2) 総合計画に紐づくICTビジョンに資する伴走支援

デジタル技術の要素を取り入れた「宇佐市のありたい姿」を具体化するために、市役所職員及び地域住民を対象としたワークショップを実施し、その結果を取りまとめるとともに、(3) 情報通信環境整備に関する計画（案）への反映とICTビジョン、総合計画へ反映するための報告書を取りまとめること

(概要)

(ア) 市役所職員向けワークショップに関すること

※ 令和5年度に市独自で行った講演及びワークショップの方向性に沿った内容で行うこと。

- ① 対象人数：10～20名程度
- ② 実施回数：2回以上の実施
- ③ 実施場所：宇佐市内（別途協議）
- ④ 業務内容
  - A) カリキュラムの設定
  - B) 開催日の設定
  - C) 講師の選定・調整

- D) 使用する機器の準備・後片付け
- E) 当日のテキストの作成
- F) 参加者へのアンケート作成・収集・分析等
- G) その他ワークショップの運営に必要なこと

(イ) 市民向けワークショップに関すること

- ① 対象人数：10～20名程度
- ② 実施回数：1回以上の実施
- ③ 実施場所：宇佐市内（別途協議）
- ④ 業務内容
  - A) カリキュラムの設定
  - B) 開催日の設定
  - C) 講師の選定、調整
  - D) 使用する機器の準備、後片付け
  - E) 当日のテキストの作成
  - F) 参加者へのアンケート作成・収集・分析等
  - G) その他ワークショップの運営に必要なこと

(ウ) 総合計画、ICTビジョンへ反映するための整理と報告書の作成に関すること

- ① ワorkshop実施結果のとりまとめ
- ② ビジョンマップ等によるビジュアル化

(エ) 議論についての計画を報告書にまとめて提出すること

（提案にあたっての留意事項）

- ・ ワorkshopの内容は、参加者がDXの概念やデジタルについて理解をしやすい、様々なアイデアを出しやすくなるよう工夫し、市と協議の上で決定すること
- ・ ワorkshop参加者は、広く参加を促し、市と協議の上で決定すること
- ・ ワorkshopのファシリテータの選定にあたっては、メインの講師のほか、初心者の参加者が円滑に受講できるようサポートスタッフを必要人数招聘することとし、市と協議の上で決定すること
- ・ 事後アンケートを実施し、DX推進に向けた課題等について評価・分析を行うこと
- ・ ICTビジョンに関するアウトプットは、市と協議の上でイメージを共有し作成すること

(3) 情報通信環境整備に関する計画（案）

上記（1）及び（2）の結果を十分に考慮・反映し、情報通信環境整備計画に必要な要素を含めた情報通信環境整備計画（案）の作成、及び農政分野以外のアクションプラン（仮）の提案。

(概要)

(ア) 情報通信環境整備計画（案）の作成に関する事

① 業務内容

- A) 本計画の令和5年度情報通信環境整備計画（案）報告書の作成
- B) 農政分野以外のアクションプラン（仮）の提案

(提案にあたっての留意事項)

- ・ 市全体や農政分野におけるニーズ、農政分野以外の進捗や計画を踏まえた情報通信環境整備事業に関する計画（案）を、市と協議の上、作成・提案すること
- ・ 実証エリアを明確にし、具体的な情報通信環境整備計画（案）を市と協議の上、作成すること

5. 実施体制・方法

(1) 作業実施体制

受注者は、本業務の実施を統括するプロジェクト責任者、プロジェクト管理者、その他要員を配置し、当該業務の作業体制図を作成すること。

6. 成果物

- ・ 宇佐市ICT化推進ビジョンに紐づくDX推進計画（アクションプラン）（仮）報告書
- ・ 令和5年度情報通信環境整備計画（案）報告書
- ・ その他、提案に関する報告書の作成